

公表

## 児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS犬山校		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 24日		~ 2024年 9月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2024年 8月 23日		~ 2024年 8月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・原始反射の統合に向け専門的な内容のトレーニングを行っていること。	・アセスメントを基にプログラムを1人ずつ作成しています。	・お子様に合ったトレーニングは何か引き続き職員同士で話し合いながら考えていきます。 ・トレーニングの内容も新しいものを考えていきます。
2	・通うことを楽しみにされていること。	・個別での対応になるのでその時のお子様の状態を見て、支援を行っています。	・お子様の状態に合わせた支援を行っていただけるよう、研修を行い職員の知識をつけたり情報共有を常に行ってまいります。
3	・視覚的に分かりやすくしていること。	・待合室や指導訓練室で文字やイラストを使って分かりやすいように配慮しております。	・これからも支援が必要なものはなか職員同士で話し合っ て考えていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援の内容について細かく説明が出来ないこと。	・支援内容については毎回職員が説明していますが、時間が限られているため内容全ての説明する時間の確保が難しいです。	・ご要望に応じて子育てサポート加算を活用し、支援の様子を見ていただきながら説明をしていきます。
2	・保護者様とゆっくお話しする機会をご利用時に作れないこと。	・面談や会議、療育の準備等で時間を割くことが難しい時があります。	・事前にご要望がありましたら時間を作り対応していただけるよう努めてまいります。
3	・基準人員以上の職員配置がないこと。	・立地条件として駅から離れていることです。 ・近くに福祉事業所が複数あり、求人の競争率が高くなっています。	・職員の募集を常に行っております。 ・専門学校や大学向けの求人も検討していきます。

## 公表 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		S.I.C.KIDS 犬山校		公表日		令和6年 12月 27日			
		利用児童数		6		回収数		3	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3			・色々な教具が置いてありたくさん挑戦出来るようになってきているのでいいと思います。	・限られたスペースの中で職員同士で使うスペースを確保しながら支援してまいります。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3				・規定に準じた職員数を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3				・バリアフリー化は難しいですが段差に転倒防止のテープを貼ったり必要な情報を掲示したりしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3				・毎日掃除・消毒・整理整頓を行っています		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3			・毎回トレーニングの様子を聞くことが出来ています。	・原始反射の統合に向けたトレーニングを行っています。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3			・目的をしっかりと聞くことが出来ているので合っていると思います。	・支援内容に合った支援プログラムを今後も取り組んでいきます。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3			・いつも要望に応じて来ています。	・客観的視点で作成していけるよう今後も務めています。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3			・子供の特性に合わせて支援計画が組まれていると思います。	・「家族支援」「移行支援」につきましてはまだ手探りな所があります。充実した内容にしていけるよう精査していきます。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3			・実施されていると思います。	・今後も計画に沿った支援を行っていきます。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3			・毎回違うトレーニングが組まれています。	・固定化しないよう工夫をしています。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2			1	・ご要望がありましたら検討させていただきます。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3			・契約の際に詳しい説明がありました。	・今後も丁寧に説明していけるよう心がけていきます。		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3			・子供の特性に合わせて説明がありました。	・計画書を作成した際に保護者様に説明しています。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3			・LINEにて案内がありました。	・これからSNSやチラシ等を活用してご案内していきます。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	3			・毎回情報共有をしています。	・来所時や支援終了後時に保護者様とお話をして共通理解をしていけるよう努めています。 ・また公式LINEを通してお話をお聞きする時もあります。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3			・相談に乗ってくれています。	・定期的に面談を行っています。 ・何かお困りごとがありましたらいつでもご相談ください。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3			・毎回丁寧に対応してくれています。	・来所時や支援終了後時に保護者様とお話をして共通理解をしていけるよう努めています。		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	3			・参加はしていませんが支援はあります。	・きょうだい支援に関しましては、イベントの時にきょうだいの参加も承っております。 ・保護者同士の交流もイベントに参加していただいた時に交流していただいております。 ・家族支援加算ではご両親やきょうだいの方の相談も承っております。			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3				・いつも対応されています。	・今後も迅速で適切な対応をしていけるよう職員一同心がけていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	3				・いつも対応されています。	・今後も配慮していけるよう努めていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3				・SNSにて発信されています。	・Instagramで教具やイベント等の情報発信を行っています。 ・公式LINEを活用し連絡を取り合っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	3				・特に問題はありません。	・鍵付き書庫に保管し、十分に注意するよう心がけています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3				・いつも対応されています。	・マニュアルは作成したものを玄関に置いてあります。 ・必要に応じて説明させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3				・まだ参加していませんが行われています。	・定期的に避難訓練を行う予定でスケジュールを組んであります。 ・訓練を行う場合は事前に保護者様にお伝えしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	3				・いつも対応されています。	・安全を確保して支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	3				・いつも対応されています。	・迅速で適切な対応を心がけています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3				・いつも楽しく通所しています。	・ありがとうございます。職員の励みになります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3				・いつも楽しく通所しています。	・ありがとうございます。職員の励みになります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				・満足しています。	・ありがとうございます。これからも満足していただけるよう職員一同努めていきます。

公表

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名		S.I.C.KIDS 犬山校		公表日	令和6年 12月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・限られた空間を工夫してよりよい支援に繋がっています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・規定に準じた職員数を配置しています。 ・変更があればお伝えしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・段差には転倒防止対策として目立つ色のテープを貼り分かりやすくしています。 ・段差があるため安全に配慮しながら支援しています。	・構造上バリアフリー化が難しくトレーニングルームに向かうまでに段差があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日掃除をしています。 ・利用児童にわかりやすいように、教具の整理をして写真や名前シールなので視覚的に分かりやすくしています。	・これからも毎日掃除・消毒・整理整頓を行っていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・利用児童が落ち着かない時に相談室を使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・より良い支援ができるように業務改善を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者様から提出いただいた評価表を見て業務の改善を行っていきます。	・業務改善を意識しながら業務を行っていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ミーティング等での意見交換の場を設けています。	・引き続き毎朝のミーティング等で意見交換の場を増やし、業務改善に繋がっていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			・外部からの評価を受けていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人内の研修や外部研修に参加しています。	・今後も参加していき、知識を深めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・利用児童に合わせて個別にプログラムを作成しています。 ・支援終了後、保護者様とお話をする時に一緒に見て話をしています。	・支援プログラムが偏らないよう今後も配慮していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者様へのアセスメントや原始反射のチェックシートを元に作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員間で話し合っ支援計画の作成に努めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画書の内容を要約したものを個々のプログラムが保管されているファイルに貼ることでニーズや計画内容の共有をしています。	・個別支援計画書が細分化されているため必要な情報を抜き出して共有できるように努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・S.I.C独自のアセスメントシートや原始反射のチェックシート、サービス等利用計画を使いお子様の適応行動などを把握しています。	・フォーマットの改善をこれからも行っていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・具体的な支援内容が設定されています。	・支援内容については情報共有を行い、支援内容に沿った支援を提供し続けていけるよう意識を向けていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・支援会議を開催する際に活動プログラムについても話し合っています。 ・日々の支援の振り返りの時に話し合う時もあります。	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・偏りが出ないよう一人一人に合ったプログラムの作成を行っています。	・新たなプログラムの立案ができるよう努めてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		○	・集団活動に適應するための個別支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝ミーティングを行い確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・翌日のミーティングで共有しています。また、個々の利用児童の記録を作成し情報共有を行っています。	・当日に振り返る時間を確保することが難しいため、翌日に行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援終了後や翌日に行っています。ミーティング等で話し合い、改善に繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年以内に一度モニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が参画しています。・必要に応じて職員と情報共有を行っています。	・必要に応じて職員も参画していけるように努めます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・体制を整えることが出来ています。	・必要に応じて情報共有を行っていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	・サービス担当者会議で情報共有を行っていますが全員ではありません。	・必要に応じて情報共有を行っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	・現在、情報共有は行っていません。	・必要に応じて情報共有を行っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	・地域の児童発達支援センターとの連携はありません。	・保護者様と連携を取って検討していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・現在交流はありません。	・保護者様と連携を取って検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・支援終了後に保護者様とお話し、情報共有をしています。・自宅で出来ることもお伝えしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・公式LINEにて案内をしています。	・必要に応じて案内を続けていきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に保護者様が分かるように様に丁寧に説明をしています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・支援計画書を作成する際は保護者様と話をする場を設け意見を確認し、作成しています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・支援計画書を作成した後は、必ず説明を行い同意していただいています。		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・半年に一度程度面談を行っています。その他に、保護者様から要望があればその都度面談を行っています。 ・悩みを等相談していただけるよう掲示をしたりLINEやモニタリング時にご案内しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・イベントを定期的に行っています。その際は利用児童やごきょうだい、保護者様なども参加できるように案内しています。	・保護者様同士で交流する機会を設けているわけではありませんが、イベントに参加していただいて交流を深めて頂ければと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・迅速な対応を心がけています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・公式LINEを使って行事や予定をお伝えしています。 インスタを活用して教具やトレーニングの案内をしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付きの書庫で保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・可能な限り配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・地域の方を招待する行事の実施はしておりません。	・必要に応じて検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・発生を想定した訓練を定期的に行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPの作成は行っています。 ・年に二回訓練を行っています。	・BCPの訓練に関しては今年度中には訓練を行います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・服薬については、面談やアセスメントシート等を活用して保護者様から伺っております。 ・てんかんの発作がある児童の利用がありません。	・事業所内での情報共有を心がけていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			・食事の提供はありません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画の作成をし、玄関に置いてあります。 ・研修や訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・避難訓練を行う際は事前にお伝えしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事業所内で共有し、その都度話し合いを行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・偶数月や新人職員が入った月に必ず研修を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・支援計画書に記載し、説明時に必ずお伝えしています。		